



## (様式第1b2) 利用課題申請書 (産業利用トライアルユース)

### 2-2. 利用課題概要(500字以内)

(採択時に公開されます)

東工大 GSIC のウェブページ、および文科省の共用ナビにて、公開されます。

### 2-3. 利用目的

(審査に利用します。課題選定委員会の委員が課題の審査が出来る程度の内容を記述ください。課題選定委員会以外には非公開です。課題選定評価委員との個別の機密保持契約を交わした上で詳細な課題説明を希望する場合はその旨を記載のこと。)

#### 2-3-1. どのような国家的・社会的課題に対応した技術課題の解決に資するものか

#### 2-3-2. 利用課題の社会的意義について

#### 2-3-3. 利用課題の波及効果について

#### 2-3-4. 知的財産権の取得方針について

#### 2-3-5. 利用課題終了時に公開する成果の内容について

(何を成果として公開する予定であるかを、2-1. で選んだ「公開する成果」に沿って具体的に記載すること。申請課題の内容と「公開する成果」が一致しているかについて審査します。また、利用概要報告書および成果報告書にはその観点での成果を記述していただきます。)

TSUBAME の利用を通じて、得られるであろう成果について、より詳しく記述してください。  
繰り返しとなりますが、成果報告書はこの「公開する成果」にあった内容で書いて頂きます。

### 2-4. 利用課題説明

(審査に利用します。課題選定評価委員会の委員が課題の審査が出来る程度の内容を記述ください。課題選定評価委員会以外には非公開です。課題選定評価委員との個別の機密保持契約を交わした上で詳細な課題説明を希望する場合はその旨を記載のこと。)

注1.各項目の記載にあたっては、十分な説明を行うために既存のスペースから行数を適宜増やしてかまわない。  
注2.用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とすること。

## (様式第1b2) 利用課題申請書 (産業利用トライアルユース)

### 2-5. 実施計画

(審査に利用します。課題選定評価委員会以外には非公開です。中間目標を明記するとともに、利用課題実施機関の四半期毎の計画を具体的に記述してください。)

### 2-6. 将来計画

(課題選定評価委員会以外には非公開です。本利用期間終了後の計画を具体的に記述してください。将来的な有償利用への移行の見込みがある場合は、その時期、可能な投資額等を具体的に記載してください。)

### 2-7. 利用課題を実施するために必要な人員および予算の確保について

(審査に利用します。課題選定評価委員会以外には非公開です。)

#### 2-7-1. 利用課題を実施するために必要な人員数の確保について

(各自の業務従事経験や利用課題への専念できる割合を明記し、具体的に記述してください。)

注1.各項目の記載にあたっては、十分な説明を行うために既存のスペースから行数を適宜増やしてかまわない。

注2.用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とすること。

## (様式第1b2) 利用課題申請書 (産業利用トライアルユース)

### 2-7-2. 利用課題を実施するために必要な予算の確保について

(TSUBAME アカウント発行の条件である TSUBAME 利用講習会への参加経費の確保、利用課題に必要なソフトウェアのライセンス取得状況、費用について、特に具体的に記述してください。)

### 2-8. 希望利用口数とその計算資源量の見積りについて

#### 2-8-1. 本年度の希望利用口数とその計算資源量の見積りについて

(審査に利用します。課題選定評価委員会以外には非公開です。初めて東工大スーパーコンピューティング環境を利用する場合はお手元の計算機での見積りでも構いません。1口は1ノード(12CPUコア, 3GPU, 55.8GBメモリ)を3000時間占有利用する単位です。4ノード48コアを約1ヶ月間利用、あるいは予約制キューで100ノード1200CPUコアを約1日利用に相当します。また2-8-2.にあるストレージ利用により消費されるTSUBAMEポイントも考慮の上、利用口数を算出すること。)

本年度の希望利用口数 \_\_\_\_ 口

その見積り根拠について

記入に困ったら、[kyoyo@gsic.titech.ac.jp](mailto:kyoyo@gsic.titech.ac.jp) へ  
ご相談ください。

#### 2-8-2. 本年度の希望ストレージ利用上限量について

(審査に利用しません。ただし、ストレージ利用により消費されるTSUBAMEポイントも考慮の上、2-8-1.での利用口数を算出してください。/work0はLustre FS、/data0はGPFSであり、それぞれ1TBを1ヶ月利用するために30TSUBAMEポイントが必要です。これらのストレージ以外にhomeとして1ユーザー当たり25GBのストレージが無償で割り当てられます。)

#### ストレージ利用上限量

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
/work0												
/data0												

※ 各月毎にTB単位でご記入ください。利用なしの場合は0TB、1TB以下の利用の場合は1TBと記入して下さい。

※ 容量は利用開始後にも変更可能です。

注1.各項目の記載にあたっては、十分な説明を行うために既存のスペースから行数を適宜増やしてかまわない。

注2.用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とすること。

(様式第 1 b 2) 利用課題申請書 (産業利用トライアルユース)

**2-8-3. 次年度以降に予定している希望利用口数とその計算資源量の見積りについて**

(審査には利用しません。事業全体の推進のための参考にさせていただきます。新規利用拡大の場合は、年度末までの利用となるため、記入する必要はありません。)

次年度の希望利用口数 \_\_\_\_ 口

その見積り根拠について

**2-9. 利用するコンピュータプログラムについて**

(審査に利用します。課題選定評価委員会以外には非公開です。以下の項目を、利用するプログラムは必要に応じて複写し、繰り返してください。)

プログラム名:

動作実績: (ハードウェア、OS、コンパイラ、ライブラリ、具体的な環境名等)

最大問題サイズ:

こちらも記入が難しいかもしれません。困ったら  
kyoyo@gsic.titech.ac.jp へご相談ください。

並列実行効率: (例えば基準となる実行数に対し、何並列で何倍になったかを最低 3 点明示するなど具体的に記載のこと)

最大メモリサイズ: (1 プロセス当たり、および、総合計)

最大ストレージサイズ: (1 プロセス当たり、および、総合計)

要求最大入出力性能: (メモリ、ストレージ、通信網)

希望する最大並列数と時間:

希望する合計ノード時間:

プログラムの性能プロファイル情報:

注 1. 各項目の記載にあたっては、十分な説明を行うために既存のスペースから行数を適宜増やしてかまわない。  
注 2. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とすること。

## (様式第1b2) 利用課題申請書 (産業利用トライアルユース)

並列化ライブラリの経験について: (MPI, Linda, DDI 等)

### 2-10. 利用課題の基礎となる査読付公刊論文の有無について

(審査に利用します。課題選定評価委員会以外には非公開です。なくても構いません。)

### 2-11. 利用課題の基礎となる知的財産権の有無について

(審査に利用します。課題選定評価委員会以外には非公開です。なくても構いません。)

### 2-12. 利用課題実施に際しての留意事項

(審査に利用します。課題選定評価委員会以外には非公開です。)

これらの条件を満たさない場合は、**TSUBAME** をご利用いただくことができません。

#### 2-12-1. 平和利用について

申請課題において、安全保障貿易管理に関する法令又は指針等により手続きが定められているものは当該手続きを実施し、当該法令又は指針等に適合する平和利用であるか: **[適合する平和利用である。]**

参考資料: 経済産業省「安全保障貿易管理について」

[http://www.hkd.meti.go.jp/hokia/anpo\\_gaitame\\_r/anpo\\_kanri.pdf](http://www.hkd.meti.go.jp/hokia/anpo_gaitame_r/anpo_kanri.pdf)

安全保障貿易管理ハンドブック

<http://www.meti.go.jp/policy/anpo/kanri/bouekikanri/daigaku/0803handbook.pdf>

#### 2-12-2. 生命倫理および安全の確保について

申請課題のうち、生命倫理及び安全の確保に関し、文部科学省「生命倫理・安全に対する取組」他、法令又は指針等により手続きが定められているものは当該手続きを実施し、当該法令又は指針等に適合しているか: **[適合している。]**

参考: 文部科学省「生命倫理・安全に対する取組」

<http://www.lifescience.mext.go.jp/bioethics/index.html>

#### 2-12-3. 人権および利益保護への配慮について

申請課題において、相手方の同意・協力や社会的コンセンサスを必要とする研究開発または調査を含む場合には、人権および利益保護への配慮を行っているか: **[配慮を行っている。]**

注1.各項目の記載にあたっては、十分な説明を行うために既存のスペースから行数を適宜増やしてかまわない。

注2.用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とすること。

(様式第1b2) 利用課題申請書 (産業利用トライアルユース)

**2-13. TSUBAME のアカウント発行が必要な課題従事者**

(以下、課題従事者Aとする。利用課題責任者に対してもTSUBAMEのアカウント発行が必要な場合は、課題従事者Aとしても記載する必要がある。この課題従事者Aは原則5名以内とします。審査に利用します。課題選定評価委員会以外には非公開です。)

課題従事者Aの人数 合計\_\_名

※ 課題従事者Aが5名を超える場合は、課題審査でその必要性を精査しますので、各課題従事者の分担内容と必要性を、特に具体的に記載すること。また適時、記入欄を追加すること。

※ TSUBAME 利用経験の欄には、TSUBAME1を含めた利用経験の有無を記載すること。

	所属		職名	
フリガナ	郵便番号	連絡先住所		
氏名	E-mail		電話番号	FAX 番号
NAME	分担内容			
TSUBAME 利用経験	必要性			
課題従事者A1				
利用経験 有り/無し				
課題従事者A2				
利用経験 有り/無し				
課題従事者A3				
利用経験 有り/無し				
課題従事者A4				
利用経験 有り/無し				
課題従事者A5				
利用経験 有り/無し				

・使う予定がないのに、とりあえず登録するのはおやめください。必要になった時点で追加アカウント申請が可能です。  
 ・利用されないアカウントはセキュリティ上の問題があります。  
 ・1アカウントの複数人での利用は絶対にしないでください。

注1.各項目の記載にあたっては、十分な説明を行うために既存のスペースから行数を適宜増やしてかまわない。  
 注2.用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とすること。

(様式第1b2) 利用課題申請書 (産業利用トライアルユース)

**2-14. TSUBAME のアカウント発行を必要としない課題従事者** (以下、課題従事者 B とする。審査に利用します。課題選定評価委員会以外には非公開です。)

課題従事者 B の人数 合計\_\_名

※ 課題従事者 B の記入欄が足りない場合、適時追加し記載すること。

	所属	職名
フリガナ	郵便番号   連絡先住所	
氏名	E-mail	電話番号   FAX 番号
NAME	分担内容	
TSUBAME 利用経験	必要性	
課題従事者 B1		
利用経験 有り/無し		
課題従事者 B2		
利用経験 有り/無し		

**3. 注釈** (専門家以外にも分かるように記載をお願いします。項目数は適宜増やしてください。)

【注釈 1】

【注釈 2】

【注釈 3】

審査委員は非専門家も含まれるのでなるべく充実をお願いします。

**4. 用語集** (専門家以外にも分かるように記載をお願いします。項目数は適宜増やしてください。)

【用語 1】

【用語 2】

注 1. 各項目の記載にあたっては、十分な説明を行うために既存のスペースから行数を適宜増やしてかまわない。  
注 2. 用紙の大きさは、日本工業規格 A 列 4 判とすること。



